



ほけんだより 10月号



令和5年
わんわん保育園
看護師 杉山

寝苦しい日々も終わり、少しづつ秋も深まってきました。
涼しかったり、暑かったり、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。
体調の管理には気をつけていきましょう。

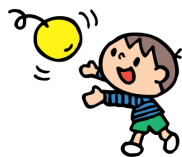
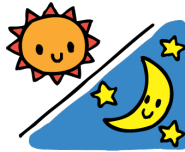


こどもの弱視が増加中！ 弱視って？

眼鏡をかけても視力が十分でないことをいいます。しかし早期発見・早期治療で治療可能な事がほとんどです。

成長に伴って、だんだんと獲得する能力

0歳では視力が0.1、
3歳頃に大人と同じ視力になり、
4歳でそれを言葉で表現出来る



⇒この視力の成長期に何らかの邪魔(斜視・遠視・近視・乱視・不同視・瞳孔不同)が入ると正常な視力の成長が止まる

⇒眼鏡をかけても良く見えない

これが

弱視

です



こんな時は眼科へ！！

- ・目つきがおかしい
- ・テレビを見るとときに異常に近くに寄ったり目を細めたりする
- ・片目を手でさえぎるとひどく嫌がる
- ・頭を傾けたり、横目でみたりする
- ・斜視のように見える



予防接種について

予防接種当日の体調が良い時に行く方が良いのは言うまでもありません。接種後の発熱や嘔吐が起きた場合、接種による副作用なのか、何か別の病気なのか区別がつかなくなる場合を避ける為です。その為、発熱・嘔吐・ひどい咳などの症状がある場合は接種を控えた方が良いでしょう。判断に迷う場合はお医者さんに相談しましょう。



インフルエンザに注意してください

2020年、2021年はインフルエンザの全国流行報告はありませんでしたが、昨年より流行報告が上がってくると終息する事なく続いています。現在、大阪市内でも終息する事なくインフルエンザが流行しているとの報告があります。インフルエンザは風邪と同じ上気道の感染です。しかし、風邪と比べて症状が重く、子どもは重症化しやすいといわれています。引き続き、手洗い、うがいなど予防策は続けていきましょう。